

Bell Forum

ベルフォーラム

地域と職員とともに栄えるチーム

2013
WINTER
No. 42

医療最前線 臨床研修室の挑戦

TOPICS

BFH(赤ちゃんにやさしい病院)に認定されました。
ドクターカー出動、1,000回!
病院食を美味しく

連載 登録医のご紹介

医療最前線

臨床研修室の挑戦



現在、医師として臨床の場に立つには、医学部での 6 年間の後に国家試験を受験・合格した上に、さらに臨床研修病院での 2 年間の臨床研修が義務づけられています。

ベルランド総合病院も、現在の臨床研修制度が開始された平成 16 年度より、基幹型臨床研修指定病院として数多くの研修医を受け入れてまいりました。また、医学部生の卒前教育として、京都大学・大阪大学・大阪市立大学・奈良県立医科大学から学生実習も受け入れています。

■ 研修の理念と病院全体での研修医教育

“良質な人間である上に『良き』医師たれ” という「ベルランド総合病院の臨床研修理念」のもとに、まずは社会人としての自覚や態度を、しっかり教育しています。

そのために、研修医は入職後、他職種と一緒に法人・病院のオリエンテーションを受けます。また、新人野外研修として、今年は金剛山登山に参加しました。さらに、実際に看護師の役割を知る意味で、新人研修医全員に夜勤看護業務を体験させています。

■ ベルランド総合病院での研修

日々の研修においては、指導医のもとでパートナーの診療にあたり、その診療内容について、指導医はじめ他の上級医が指導確認しています。

研修 2 年目は、当直時間帯においてもパートナーの診療を行っています。もちろん上級医・指導医が見守る中で行い、適切なフィードバックとサポートを受けることで、研修医は確実に力をつけていきます。

2 年間（24 ヶ月）の研修プログラムは、まず 1 年目において内科 6 ヶ月、救急・麻酔 3 ヶ月、外科 2 ヶ月、産婦人科 1 ヶ月の研修を行い、2 年目には小児科 2 ヶ月、救急科 2 ヶ月、地域医療・精神科各 1 ヶ月を必須として、プライマリーケアができるようになっています。残り 6 ヶ月は、将来の進路を考えた上で診療科を選択できるようにしています。

■ 専門的な知識の習得のために

初期研修修了後の専門的な医療へのステップとして、関連大学からの教授はもとより、全国から各分野の著名な先生方にもお越しいただき、研修医への特別講義を行っております。

また、当法人の村田教育センター長は、将来留学したり、国際学会などでも活躍できる医療人を育てたいとの強い思いがあります。そこで、アメリカで共に教鞭をとっていた関係から、毎年 Felzal Waffam 先生（略歴：2011 年 9 月までカリフォルニア大学アーバイン校小児科の主任教授を務められ、現在は Chairman を辞して小児科教授、新生児学の専門医として大学に教授職で所属）にもお越しいただき、1 週間の英語による医学教育を行っています。



Felzal Waffam 先生による勉強会

研修実績

ベルランド総合病院では、研修医を毎年 6 名受け入れています。また別枠として、大阪市大と奈良医大から「たすきがけ」各 1 名が 1 年目のみ研修しております。

当院の臨床研修医応募数は、毎年定員の 2 倍以上と競争倍率も高く、当院で採用決定した医学部生は、全員が国家試験に合格し、なおかつ 2 年間の初期研修も無事修了しています。

研修指導体制

一方、研修指導に当たる指導医には、「卒後 7 年以上で、厚労省の定める指導医養成講習会の受講」が求められています。当法人でも、現在までに 3 回の指導医養成講習会を行っており、常勤医 110 余名のうち約 8 割が指導医講習会を受講・修了した指導医です。

さらに、臨床研修が実際に適切に行われているかどうかについて、NPO 法人卒後臨床研修評価機構による第三者評価を受け、臨床研修を行う病院として適切であるとの評価をいただいています（全国で現在 153 施設が認定）。

臨床研修指定病院は、「医学部の卒業生を社会に役立つ医師に育てるよう社会から託されている病院」であります。ただ臨床研修医は、院内の医師・医療従事者だけでなく、地域の先生方やパートナー、その周りの人々に支えられ育っていきます。今後とも、臨床研修医の教育について御理解・御協力の程、宜しくお願いたします。



新人野外研修 金剛山登山 山頂にて



大阪市立大学付属病院 心臓血管外科
末廣 茂文教授によるミニレクチャー

【略歴】

平成 3 年	奈良県立医科大学 卒業
同年	奈良県立医科大学 第三内科
平成 4 年	奈良県立五條病院 内科
平成 14 年	奈良県立医科大学 救急科 助手
平成 15 年	医仁会藤本病院 内科
平成 16 年	国保中央病院 内科
平成 19 年	ベルランド総合病院 消化器内科部長

【資格】

日本内科学会：指導医、認定医
日本消化器病学会：学会評議員、指導医、専門医
日本消化器内視鏡学会：学会評議員、指導医、専門医
日本肝臓学会：専門医

臨床研修管理委員会 副委員長
臨床研修室 室長
消化器内科 部長

あん たついち
安 辰一

【臨床研修関連】

奈良県立医科大学 臨床教授
プログラム責任者講習受講
NPO 法人 サーベイヤー講習受講



登録医のご紹介

もりもと泌尿器科クリニック
院長 森本 康裕 先生

泌尿器科

Q. 医師を目指したきっかけは？

A. 祖母の入院・加療をした際に、その対応をして頂いた医師に憧れて。

Q. 診察の際に心がけている事は？

A. 病気の状態について、なぜ？どうして？どう治療していくかを、わかりやすく患者様に説明出来る様に、心掛けています。

Q. 地域医療について

A. 今後の医療体制をふまえ、病診はもちろん診診連携も重要であると思います。

Q. ベルランド総合病院への希望・要望

A. いつも細かい事に対応して頂いてありがとう。

Q. 最後に一言お願いいたします。

A. これからも宜しくお願いします。

探偵！ナイトスクープに
出演したこともありますよ！



星座：ふたご座

血液型：A型

趣味：食べ歩き
体を鍛えること
(食べるために?)

住所：堺市南区鴨谷台
2丁目 1-3 アクトビル 2F

TEL：072-268-2000

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○	×	×
17:00～19:30	○	○	○	×	●	×	×	×

● 近畿大学医学部堺病院医師担当

※ 土曜日は9:00～13:00

セミナー開催予定

1月25日(土)	第3回 OBGYN オープンクリニカルカンファレンス	ベルランド看護助産学校
2月9日(土)	第8回 泉北地区消化器カンファレンス	ホテル・アゴラリージェンシー堺
2月22日(土)	BFH 記念講演会	スイスホテル南海大阪

新規登録医

東区	文殊クリニック	もんじゅしょうだい 文殊 正大 先生
北区	中内こどもクリニック	なかうちしょうへい 中内 昭平 先生
富田林市	斉藤ウィメンズクリニック	さいとうけんすけ 齊藤 謙介 先生

登録医件数 H25.10.1 現在 358 件



第4回ベルランド総合病院 地域連携パス勉強会

「前立腺がん地域連携パスについて」報告

泌尿器科部長 大町 哲史



堺市医師会病診連携理事
西川 正治先生

連休前の土曜日の夕方からという、開業医の先生方にとっては公私にわたって多忙な時間帯にもかかわらず、泌尿器科専門医4名を含む、14名の院外からの先生方にご参加いただき、院内からの25名の参加者を含めると、実に39名の参加を数えました。

まず、堺市医師会病診連携理事である西川先生から開会のあいさつを頂き、肝疾患の地域連携パスについて、消化器内科部長の安先生から講演がありました。次に、前立腺がん地域連携パスについて、約40分にわたって講演させて頂きました。

今後、前立腺がんの罹患数は大幅に増加すると予想され、マイナーな泌尿器科医の人数から鑑みても、地域の先生方との連携なくしては、到底、診療できないと考えられます。



消化器内科部長 安 辰一

そのためにも、前立腺がん疑いのある患者さんに対して、PSA採血するだけの簡単な連携パスですから、広く利用して頂くようお願いしました。

質疑応答では、PSAの採血間隔について、大阪府の泌尿器科保険診療審査委員である児玉先生が出席されていたのを幸いにコメントを求め、急な指名にもかかわらず、丁寧に答え頂きました。

今後も、連携パスを通じて地域医療に貢献をしていきたいと存じます。



泌尿器科部長
大町 哲史

第17回ベルランド総合病院 地域医療懇話会報告

地域医療連携室室長 中野 素宏

10月19日(土) ホテル・アゴーラリージェンシー 堺において「第17回ベルランド地域医療懇話会」を開催しました。

第1部では新任の診療科部長4人が各診療科の紹介をしました。

産婦人科の峯川部長から、エコー外来で高レベルの胎児診断を行っていること、ハイリスク分娩の母体搬送を積極的に受け入れる方針であることなどを説明しました。

小児科の沖永部長は、一般小児科領域、新生児領域の実績を示し、専門とする子どものけいれん・てんかんについて概説しました。

脳神経外科の浦西部長は、今年10月から脳神経外科医師が4人に増員され、r-tPA療法を含む脳卒中急性期治療に24時間365日対応できる体制が整ったことを紹介しました。

乳腺センター阿部センター長は、今年新設された乳腺センターにおける乳がん治療の取り組みを紹介し、登録医の先生方に安心して患者さまをご紹介いただけることを示しました。

第2部では亀山院長が、来年8月に完成する新病院の概要を紹介しました。具体的には、患者アメニティーが飛躍的に改善されるほか、緩和ケア病棟、レ



(左上) 産婦人科 峯川部長
(右上) 小児科 沖永部長
(左下) 脳神経外科 浦西部長
(右下) 乳腺センター
阿部センター長

ディース病棟、母体・胎児集中治療室(MFICU)を新設し、各種診断・治療機器の新規導入や更新を行って診療機能が大幅に向上することを説明しました。

今回は、亀山院長から新病院についての紹介があるとのことで、登録医の先生方以外に、薬剤師会の先生方、他施設の地域医療連携担当者の方などの関心も高く、128名のご参加をいただきました。

懇親会では、電話でしか話したことがない地域医療連携室スタッフと顔を合わせ、近くに感じる事が出来たとの感想をいただきました。また、新病院に対する期待が非常に高いことも肌で感じる事が出来ました。

今後、皆さまの大きな期待にこたえるべく、地域医療連携を更に強化していく必要性を痛感しました。

赤ちゃんにやさしい病院（BFH）に 認定されました

副院長 大島 利夫

ベルランド総合病院は今年BFHに認定され、8月3日、母乳育児シンポジウムにおいてユニセフ東京事務所所長から認定証を授与されました。今年認定された4施設を加え、日本全国で68施設がBFH認定を受けています。

BFHとは

1960年代に開発途上国で「哺乳ビン病」が多発し、多国籍人工乳メーカーの無軌道な販売活動と、それがもたらした惨禍が明らかとなりました。1981年に「母乳代用品のマーケティングに関する国際基準」（WHOコード）が示されましたが、販売活動を規制することで母乳育児を推進する試みには限界がありました。

そこで、1989年に産科施設に母乳育児支援を取組ませる目的で「母乳育児を成功させるための10か条」が策定され、1991年には、WHOコードを遵守し、10か条を実践する施設をBFHと認定し、母乳育児を社会に広める役割を担わせる「赤ちゃんにやさしい病院運動（BFHI）」が始まりました。

1990年代には先進工業国においても母乳栄養、母乳育児の意義が高く評価されるようになり、BFHIが世界的規模で繰り広げられるようになりました。



BFH 認定証
パブロ・ピカソの
「母子像」が添えられています。



シンポジウムでの授与式

当院の母乳育児支援、過去の経緯

ベルランド総合病院では、1990年代初頭から母乳栄養、母乳育児の支援を始めました。

1995年に母児同室に移行し、小児科医による生後2週間健診を開始したところ、生後1か月での母乳率は40%台から80%台に急上昇しました。しかし、その一方で、母乳栄養に取り組むことに苦痛を訴える母親がいたことも事実です。

1997年にNICUを開設し、新生児搬送や母体搬送を受け入れるようになり、医療的介入を要する例が増え、母乳栄養を望まない母親の入院も多くなりました。BFH認定が、母乳栄養を望まない母親を排除するかのような印象を与えることを危惧する意見もあり、母乳育児支援を粛々と行いながらも、当時はBFH認定取得を意図しませんでした。

なぜ今BFH？

以前は、母乳栄養に熱心な施設は「母乳道場」と揶揄されることもあるほど、やや根性主義的な雰囲気もありましたが、母乳栄養および母乳育児の効果や利点に関するエビデンスが集積され、科学的母乳育児支援が可能となってきています。

厚生省の調査では、「母乳で」または「できれば母乳で」と考える妊婦は96%を占め、母乳育児に対する評価と欲求が高まっています。母乳育児を希望する母親が増加した一方で、何らかの支援を必要とする人も多く、これらの母親たちに適切な支援を提供することが周産期施設に求められています。

8/10

第5回南大阪医学教育セミナーを開催しました。

産婦人科 副部長 濱田 真一



左) 船戸 正久先生
右) 岡井 崇先生

第5回南大阪医学教育セミナーが8月10日に開催され、101名の参加がありました。例年と同様に多数の方々に参加して頂き、誠にありがとうございました。

まずは「NICUの後方支援 - 大阪の小児在宅医療の現状と課題」と題して、大阪発達総合医療センター重症心身障害児施設フェニックス園長である船戸正久先生、次いで「産科医療補償制度の理念と実績」と題して、昭和大学医学部名誉教授、総合母子保健センター愛育病院院長、産科医療補償制度原因分析委員会委員長である岡井崇先生から、講演がありました。

船戸先生は、大阪府における小児在宅医療の黎明期から現在に至るまでの変遷と行政の対応や、NICUの後方支援としての役割、患者・家族が望む在宅支援と今後の方向性を中心に話されました。

周産期医療に携わる医師として、NICUを退院した児がどのような支援を受けているのか、患者・家族が望む在宅支援について非常に興味深く聴かせていただきました。

岡井先生は、産科医療補償制度の申請件数が、平成21年1月から平成24年11月末現在451例で、うち414例が補償対象で、このうち第3者による原因分析済件数は188例と報告されました。

損害賠償請求等の事例数は、補償が決定した事例(414例)では23例(5.6%)に対して、原因分析報告書を送付した事例(188例)に限定すると、4例(2.1%)であったことから、第3者による原因分析が、医事紛争の抑制に繋がったと説明されました。原因分析報告書に関する、医療機関と保護者を対象にしたアンケート調査では、報告書に対する理解や満足度において、大きな乖離はみられませんでした。

紛争の防止、早期解決および医療の質の向上を図るためにも、このような制度は不可欠なものだと感じました。

10/3 第3回新生児学術講演会を開催しました。

看護部 リーダー 金子裕子

10月3日スイスホテル南海大阪にて、第3回新生児学術講演会が開催されました。

講演会では、東邦大学名誉教授である多田裕先生をお招きし、「これからの周産期医療—育児不安・虐待予防を防止するために、我々は周産期に何が出来るか—」というテーマで講演していただきました。

医師・助産師・看護師など院内外の多くの医療関係者が参加し、周産期医療の変遷を学び、今ある課題について考える良い機会となりました。

また、虐待予防についても、虐待が疑われてから関わるのではなく、妊娠期からハイリスク妊婦を発見し、

多田 裕先生



関わっていくことが重要であることを、再認識することができました。

プレネイタルビジット(出産(生)前小児保健指導)の必要性についても話され、育児不安を軽減し、虐待を食い止めるために必要な制度であると考えさせられました。

子どもたちが健やかに成長していけるよう、出来ることから取り組んでいきたいと思えます。



急病救急部 スタッフ

ドクターカー出動 1,000 件 達成!!

急病救急部 部長 北岸 英樹

2006 年 1 月から運用を開始した、ベルランド総合病院のドクターカー（以下 DC）も 2013 年 7 月 24 日の出動をもって、1000 件に到達致しました。病院外での 1000 件もの診療は、院内診療では体験のできないことや自分に不足してものを気付かせてくれる、我々にとってはかけがえのない経験であり、この 7 年間の間にスタッフは大きく成長したと感じております。

当初は、ベルランド総合病院と堺市消防局で開始した DC 運用ですが、2011 年よりメディカルコントロール協議会のもと DC 運用検討会を立ち上げ、メディカルコントロール協議会、消防局、保健所、行政が一体となって、救急の町堺造りのためのシステム構築を行っており、ベルランド総合病院がその中心的な役割を担っております。

当院では現在、年間約 200 件弱の出動がありますが、DC というツールを用いて循環器内科、小児科、産婦人科と共同で重症の循環器疾患、小児重症疾患、切迫早産等への出動を強化しております。

また今後は、現在の月～土、9 時～ 17 時をいう枠を越え、24 時間 365 日の運用を目指しております。



クレーン転倒事故での現場治療では、堺市消防局より感謝状をいただきました。



横転事故 出動時の様子

Excellent License

★ 看護部 部長 中嶋 和代

認定看護管理者に認定されました！



日本看護協会では、高度化・専門分化が進む医療現場での看護ケアの広がり、看護の質向上を目的に、資格認定制度を発足しています。

資格認定制度には、専門看護師・認定看護師・認定看護管理者の 3 つの資格があります。今回、私が取得した認定看護管理者は、「経営的な視点を持って、創造的に組織を発展させる」ことを役割としている看護管理者の資格です。

私が認定看護管理者教育課程を受講した理由は、平成 26 年 8 月の新病院オープンに向けて、質の高い高度急性期医療・地域医療を提供するための看護部組織を作っていくために、チーム力が発揮できるマネジメント能力を身につけたいと思ったからです。

認定看護管理者教育課程の受講を通して、管理に関する知識・技術を系統的に学ぶだけではなく、保健医療福祉の動向や医療を取り巻く環境、自施設の役割と周囲の状況について広く高い視点でとらえる訓練となりました。また、それぞれの現場で活躍する看護管理者とのネットワークを広げる機会となりました。

今後は、地域医療機関や介護施設の方々と連携を図りながら、地域住民の方々から選ばれ、信頼される病院を目指して、看護サービスの向上に努めていきたいと考えています。

健康塾

ベルランド総合病院では、地域の皆さまの健康推進に役立つことを目的に、毎月一回、専門医による「健康塾」を開催しています。



第6回 「糖尿病」

現在、成人の約5人に1人が糖尿病とされています。どのような食事が理想なのか、日常で気をつけるべきことなどを内分泌・代謝科の八木稔人部長がお話しました。質問コーナーでは、身近な疑問などを聞かれる方が多く、活発な雰囲気となりました。



第7回 「腰痛」

いろいろな原因があり、それぞれに治療法が異なる腰痛。予防や治療について、リハビリテーション科の朴智智部長がお話しました。予防法である腰痛体操を、家でも実践していただけるよう、ご案内をお配りし、大変喜ばれました。



第8回 「オシッコ出にくくないですか？」

男性も女性も、多くの方が様々な原因から尿トラブルをかかえています。あきらめず、上手につきあっていく方法を、泌尿器科の大町哲史部長がお話しました。ユーモアあふれる講演となり、アットホームな雰囲気の中、参加者の方にも熱心に聞いていただきました。



今後の予定

第9回健康塾「めまい」
11/14 (木) 14:30 ~ 15:00

第10回健康塾
「なぜ乳がん検診が必要か」
12/4 (木) 14:00 ~ 14:30

ご予約は不要です。

お問い合わせ

地域医療連携室
072-234-2001 (代)

病院食を美味しく!!

病院食というと、治療の目的にかなって、栄養のバランスが良くても、美味しくないというイメージがありませんか？

ベルランド総合病院の食事は、安心、安全で、なおかつ美味しく提供するため、独自の給食システムで提供されます。

ベルキッチンの「ニュークックチル方式」

ベルランド総合病院を含む社会医療法人生長会、社会福祉法人悠人会の各施設の食事は、堺市西区菱木にあるベルキッチンで調理、盛り付けられ、各施設に配送されます。

ベルキッチンは品質管理システム ISO9001 認証を受け、食品安全衛生管理システム HACCP 適合施設で、陽圧制御システムでクリーン度クラス 10 万という清浄な環境のもと、「ニュークックチル方式」を採用しています。

「ニュークックチル方式」では、加熱調理したあとチルド（0～3℃）状態に急速冷却し、そのまま盛り付け、トレイメイク（一人ずつトレイにセット）して冷蔵車で配送されます。各施設に到着後は、提供時間に合わせて再加熱カートで温かい料理は温められ、冷たい料理はそのまま提供されます。この方式で衛生管理、温度管理を行い、美味しい食事を提供しています。

病状によって食事制限が必要な患者様にも満足して頂けるよう、内容や形態を工夫し、季節を感じて頂けるよう心を込めてご用意しています。

ベルキッチンの管理栄養士、調理師と、病院・施設の管理栄養士が意見を出し合い、新メニューを開発するなど、より良い食事が提供できるよう努力してまいります。

人気メニュー



鶏肉のマスタード焼き

見た目はボリューム満点の子キンカツですが、実は粒マスタードとウスターソースで味付けし、パン粉をつけてパリッと焼いたヘルシーな料理。塩分や脂質の制限の方に人気の一品です。



自慢の「行事食」

入院中でも季節を感じて頂くため、自慢の献立で行事食を提供しています。

元旦のおせち料理は品数が充実しており、本格的です。2月の節分には巻き寿司や鰯の塩焼きを、3月桃の節句には豪華なちらし寿司とハマグリのお吸い物、などなど。そして、12月最後のイベント、クリスマスには骨付きチキンやクリスマスケーキを提供しています。



にぎり寿司

「まさか病院食に出てくるなんて」という声も聞かれますが、ニュークックチル方式では安全に、美味しく提供できます。



ベルランド総合病院への交通

電車とバスをご利用の場合

泉北高速鉄道「深井駅」より

南海バス〈泉ヶ丘行き・あみだ池行き〉

東中学校前バス下車徒歩1分

または〈北野田駅前行き〉高山バス下車徒歩5分

南海高野線「北野田駅」より

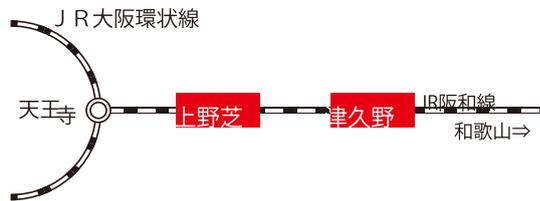
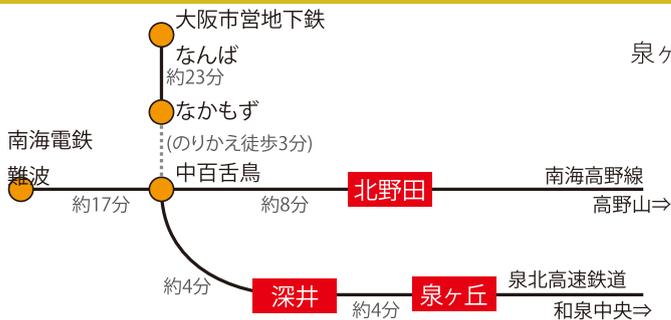
南海バス〈西区役所前行き・東山車庫前行き・深井駅行き〉

高山バス下車徒歩5分



送迎バスのご案内

泉ヶ丘駅・北野田駅・上野芝駅・津久野駅・深井駅の5駅から発着



泉ヶ丘駅発	ベルランド総合病院発泉ヶ丘駅行き
7:30-13:45 まで 毎時 00・15・30・45 分発 14:00-19:30 まで毎時 00・30 分	7:20-13:50 まで 毎時 05・20・35・50 分発 14:20-19:20 まで毎時 20・50 分
北野田駅発	ベルランド総合病院発北野田駅行き
8:45-17:15 まで毎時 15・45 分発	8:30-17:00 まで毎時 00・30 分発
上野芝駅発	ベルランド総合病院発上野芝駅行き
8:35-15:35 まで毎時 35 分発	8:15-15:15 まで毎時 15 分発
津久野駅発	ベルランド総合病院発津久野駅行き
8:20-15:20 まで毎時 20 分発	8:00-15:00 まで毎時 00 分発
深井駅発	ベルランド総合病院発深井駅行き
8:35-15:35 まで毎時 35 分発	8:00-15:00 まで毎時 00 分発



社会医療法人 生長会

ベルランド総合病院	TEL.072-234-2001(代)
府中病院	TEL.0725-43-1234(代)
ベルピアノ病院	TEL.072-349-6700
ベルアンサンプル介護相談センター	TEL.072-349-6752
ベルアンサンプル訪問看護ステーション	TEL.072-349-6753
ベルアンサンプルヘルパーステーション	TEL.072-349-6754
阪南市民病院	TEL.072-471-3321(代)
健診センター ベルクリニック	TEL.072-224-1717(代)
総合健診センター 府中クリニック	TEL.0725-43-3500(代)
呼吸ケアセンター ベルライフケアクリニック	TEL.072-235-3101(代)
不妊専門クリニック 府中のぞみクリニック	TEL.0725-40-5033(代)
和泉市立 和泉診療所	TEL.0725-44-6921
介護老人保健施設 ベルアモール	TEL.072-277-7711(代)
認知症高齢者グループホーム ベルアモールハウス	TEL.072-277-7711(代)
サービス付き高齢者向け住宅 ベルヴィオロン	TEL.072-349-6720
ベルランド看護助産専門学校	TEL.072-234-2004(代)
院外調理センター ベルキッチン	TEL.072-274-0331(代)
ふちゅう訪問看護ステーション	TEL.0725-43-9375(代)

社会福祉法人 悠人会

特別養護老人ホーム ベルファミリア	TEL.072-234-2005(代)
介護老人保健施設 サンガーデン府中	TEL.0725-46-2001(代)
複合型福祉施設 ベルタウン	
特別養護老人ホーム ベルライブ	TEL.072-221-7002
介護老人保健施設 ベルアルト	TEL.072-221-7001
ベルタウン訪問看護ステーション	TEL.072-221-7023

ベルタウン介護相談センター	TEL.072-221-7004
保育園ベルキンダー	TEL.072-221-7030
保育園ベルキンダー安井	TEL.072-232-1188
保育園ベルキンダー安井分園	TEL.072-225-0313
ベル介護相談センター	TEL.072-234-2171(代)
ふちゅう介護相談センター	TEL.0725-41-2621(代)



※1: ふちゅう訪問看護ステーション・ベルアンサンプル訪問看護ステーション・ベルタウン訪問看護ステーション

※2: ベルファミリアヘルパーステーション・ベルアモールヘルパーステーション・サンガーデンヘルパーステーション・ベルタウンヘルパーステーション・ベルアンサンプルヘルパーステーション



社会医療法人 生長会

ベルランド総合病院

発行日 / 平成 25 年 11 月 1 日発行

発行 / ベルランド総合病院 地域医療連携室

郵便番号 599-8247 大阪府堺市中区東山 500-3 TEL.072-234-2001(代)

<http://www.seichokai.or.jp/bell/>